

令和7年度 1学期始業式式辞

今日から令和7年度が始まります。目標はしっかり立てることが出来たでしょうか？3年生は学校生活、部活動の締めくくり、2年生は中心的な活躍が期待される訳ですが、新たな一年を充実したものにしてほしいと思います。

さて、昨年12月、ある高校のバスケットボール部が話題になりました。皆さんわかりますか？

和歌山南陵高校のバスケットボール部です。学校の閉鎖が決まり、多くの部員が転校する中、残った3年生わずか5人で12月に開催された全国大会「ウインターカップ2024」に出場しました。

1回戦、部員50人を擁する県立長崎工業高校と対戦します。試合終盤まで互角の戦いを繰り広げましたが、第4クォーター残り6分42秒で一人の選手が5つ目のファウルをとられ退場。交代要員がいないため、残り時間を4人で戦うこととなりました。

最終的に64－80で敗れてしまうわけですが、交代要員がいない過酷な状況でも最後まで全力を尽くし、その姿は多くの人々に感動を与えました。

試合後、キャプテンの二宮選手は「この3年間辛いこともいっぱいありました。それでも逃げなかった5人でこの舞台に立てて、最後まで戦えたことはすごくうれしいです。南陵に残ってよかった、この5人で最後まで戦えてよかったなって思える試合でした」と語っています。

彼らは厳しい状況の中でも「今の自分にできること」を考え、目標に向かって全力で取り組みました。その姿勢こそが、私たちが大切にすべきことです。学校生活でも、思うようにいかないことや困難に直面することがあるでしょう。しかし、大切なのは、「今できることを精一杯やる」ことです。その積み重ねが、やがて大きな成果や感動につながるのです。

新しい年度の始まりにあたり、皆さんが「挑戦することを恐れず、前を向いて進む」一年にしてくれることを期待しています。

それでは、令和7年度のスタートです。皆さん、一緒に頑張ってください！